

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 2 回 定例委員会
日 時	平成 18 年 2 月 17 日 自 15 時 02 分 至 16 時 39 分
場 所	苫小牧市役所庁舎 9 階 第 1 委員会室
出席委員	委員長 吉本俊憲 委員 鈴木正樹 委員 佐藤郁子 委員 佐藤 守 委員 山田真久
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤(郁)委員
会議録作成職員	総務課総務係 主事 上川 裕樹
事務局職員	学校教育部長 菊地 一己 スポーツ生涯学習部長 鎌田 龍彦 総務課 長 照井 進 総務課総務係長 松野 裕 総務課総務係 主事 上川 裕樹
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時02分
2	会議録署名委員の指名(佐藤(郁)委員)
3	報 告（山田教育長）
	・ 管内市町村教育委員会委員研修会が1月30・31日の2日間の日程で開催され、道教委から生涯学習推進局長さんが来て講演をしていただき、2日目には3つの分科会に分かれて研究協議も行われ、大変盛会で勉強となった。
	・ 冬季スケート国体が1月28日から2月1日まで本市で開催され、委員の皆さんにも出席していただきましたが、特に鈴木委員さんは競技役員ということで、連日ご苦労様でした。
	・ 2月8日には北海道教育・文化振興協議会、13日には北海道都市教育委員会連絡協議会委員長教育長合同会議が開催されましたが、道教委から即答は得られなかったものの、その機会を利用して養護学校設立の陳情に伴って小中特殊教育課の医療参事と特別支援教育振興グループ主幹の二人に直接お会いして文書で苫小牧の実情について説明したところである。
	・ 先の校長会議で、3学期も残すところあと1ヶ月になり、子どもたちも巣立ちの時期ということで、友達や先生との別れ、また自分自身の成長を確かめるという時期である。豊かな感性を育てるのにふさわしいということで、思い出深い充実した学校生活になるように、またその学習指導要領に基づいた適切な卒業式が実施されることをお願いしているところである。また、この時期は大変忙しくなってきた、外部からも人が入ってくるということで、つい集中力が欠けてしまう場面、あるいは子ども達も不安や気の緩みというものが出てきて、色々な学校の安全の問題、生徒指導についても気をつけていか

なければならぬ。また、不登校の子ども達も卒業することから、これからどう進路を決めていくのかという部分で、充分子どもや親の願いを受け止めて個々に対応してほしいということを学校に呼びかけたところである。
・ この他、文部科学省の「教育改革のための重点行動計画～どの子どもにも豊かな教育を～」の中身について説明。
4 議 案 審 議
議案第1号 平成18年度教育行政執行方針について
(菊地 学校教育部長 提案説明)
・ 「平成18年度教育行政執行方針(案)」を今年度から新たに行う背景として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中に、予算編成権限については市長が持っているが、教育の中身の執行については、教育委員会の権限になっていることをふまえて、従来、市長が施政方針の中で教育について予算の部分について述べるだけというのを改め、今日的な課題である不登校・いじめ・通学路の安全の問題と複雑化してきている教育行政の執行に関する諸問題について、直接市民の皆様へ1年間こういう形で教育行政を執行させていただきたいと説明する必要が出てきたことによる
・ 議会では、市長の施政方針演説のあとに、教育長が1年間の方針を発表する予定
(吉本委員長) ありがとうございます。菊地部長さんからの趣旨のとおりかと思えます。
残念ながら、過去を振り返りますと市長の施政方針の中で包含されていたものを、2月の議会において教育長の方から教育行政執行方針ということで説明するというので、これは本来であれば履行しなければならないものを履行していなかったということなのではないでしょうか。
(菊地部長) 何日か前に道新にも出ていたのですが、ほとんどの市町村は行っていて、

<p>行っていないのは初めて聞いたとの道教委の話が出ていましたけれども。</p>
<p>(教 育 長) 私もいくつか聞いてみたのですが、現実的に行っていない所もあるのですが、行っている所が多いし、首長と教育委員会と一線を画している部分がありますので、これについては独自で行うべきと思っていました。</p>
<p>正直言います、行うからには議会の承認を得て行うということになりますので、11月ころから市長部局と打診をしながら行う方向で進めて、こういう形になってきたということです。誰かがどこかの時期でというタイミングで今回始めることになりました。</p>
<p>(吉本委員長) 事前にいただいていたので目を通しまして、教育行政に関する18年度の執行方針ですから、大変重要なことですが、かなり苦小牧市教委として具体的な学校名が入り、教育長を含め事務局が色々と精査した中で、文言が使われているようですので、是非とも教育長さんにはご苦労様ですが、これを発表することで、議会や市民の反応と言いますか、こういうのを確認してという形になるかと思いますがよろしくお願ひいたします。</p>
<p>何か、他の委員さんでこのことに関してご質問等ありますか。</p>
<p>(教 育 長) 事前に資料をお渡ししていると思いますので、もしご意見いただけるのであれば、手直ししていきたいという気持ちでおりますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>(佐藤守委員) 1の学校教育の充実の中の(4)安全で快適な教育環境の整備ということで、一番下の方に「小・中学校の適正規模等についての検討を行い」というところがあるのですが、これは具体的に質問が出てくるような気がするのですが、この辺はどのような捉え方をしているのでしょうか。</p>
<p>(教 育 長) 今、札幌や旭川なども検討を始めておりますし、苦小牧はいびつな形で学校を建てなければならない一方で、子どもが少なくなっているのではないですか、といった状況の中で非常に関心が高まっているということで、すでに何回か議会の中でも統廃合という言葉が出てくるのですが、私ども</p>

はどこの学校を統廃合しますという観点ではなくて、苫小牧の子どもにとって、例えば1学年何学級というのが望ましいという姿に対して、そこま
でいっていない学校があって、それはどうするのかというように考えてい
かないと、通学区域をこちらからこちらへ移したらいいのではないかと
いう対応でできるのか、あるいは部活のために通学区をどうするのか、とい
った論議でいくと何か末梢的になってしまいますから、きちんとした適正
規模というのか、これが教育にとって必要なのだという部分を出すために、
色々な課題のある所はこういうものでこれをどう解決したらいいのかとい
う手順で進めていきたいと打ち上げていますが、実際には今年度これを検
討していきますということですので、現段階では手持ちで提案するものを
持っておりません。

(佐藤守委員) わかりました。ありがとうございます。

(吉本委員長) ひとつよろしいですか。例えば明德小学校という具体的な名前を出して、
特別支援教育の対応をすとか、社会教育関係で買うとか、色々なプロジ
ェクトがいくつかありますが、財政的な裏づけがあるのでしょうか、財政
的な理由だけで挫折してしまうことがあってはいけないと思うのですが、
この辺どうなのでしょう。

(教 育 長) 本来であれば市長の施政方針の中で、当然、こういうことで行いたいから
こういう予算付けをしていますという説明になるわけで、私どももこの中
に書かれていることはすでに予算付けをしていますということです。もし、
述べたあとに議会で否決されたらどうになってしまうのかという問題が出て
きます。

(佐藤郁委員) 1の(2)に出てくる「よりよい生き方」ですとか、(4)の「よりよい教
育環境の確保」の「よりよい」という表現なのですが、このあたりの質問
は出てこないのでしょうか。もっと具体的に書いた方が出てこないのでは
ないかと思うのですが。「よりよい」というのはどこからかとか、私どもの

会議ではよく出る質問ですから。
(教 育 長) 今のレベルよりもよりよくなるということですが、どのレベルという基準をここでは言うてはいませんね。ただ、私はその辺で質問が出てくるとは想定していなかったの。
(佐藤郁委員) それで考えまして、「よりよい」のところを例えば、もっと具体的に(2)で「より社会に適應できる生き方」とか、そういうふうにした方がわかりやすいのではないかと思ったのと、(4)の方は「より安全な教育環境」とか、限度を設けた方がよいのではないかと思ったのですが。
(教 育 長) 文部科学省の使っている文言の中に、義務教育の関係では比較的「よりよい」という言葉は使われているのです。私たちは異質を感じてはいないのですが、わかりました。ちょっと検討してまいりたいと思います。
(佐藤郁委員) 表現として使われているのであれば、問題はないと思うのですが。
(吉本委員長) その辺、事務局と精査していただくとして、鈴木委員さんは何かありませんか。
(鈴木委員) そうですね、1の(4)ですが、「小中学校の施設整備計画を策定いたしました」ということで、ウトナイ小学校を新設しますということはいいいのですが、あと「美園小学校、清水小学校、開成中学校、光洋中学校などでは教育環境の整備をしてまいります」というふうとうたっているのですが、この間、学校訪問した時点で、もっと早くにここを直さないと危ないのではないかというような学校もあったのですが、そういう学校は計画の中にはまだ大丈夫という感じなのではないでしょうか。
(菊地部長) 後ほど、計画の全体像を資料でご説明させていただきますが、ここに掲げている4校については、今年改築に手をつける程度、予算化されているということでございます。
(鈴木委員) わかりました。
— 原案通り承認 —

議案第2号 特殊学級の通学区域の変更について
(菊地 学校教育部長 提案説明)
・ 澄川小学校の特殊学級について、児童の増加が著しいことから、指導面・施設面で限界にきている状況
・ 議案は、この過密状態を解消するため、澄川小学校の特殊学級校区を分離して明德小学校に新たな特殊学級を新設するための通学区域の変更である
・ 変更の内容は、現在、澄川小学校の特殊学級に入っていた錦岡小学校、樽前小学校、明德小学校について分離して、新設される明德小学校の特殊学級に編入し、澄川小学校は泉野小学校、澄川小学校のみとなる
・ これにより平成18年度の児童数39名を6学級7名の教員で指導しなければならないのを、澄川小学校30名で5学級6名の教員、明德小学校9名で2学級3名の教員で指導することにより、合計7学級9名の教員で指導することができる
(吉本委員長) ありがとうございます。分離をすることによって特殊学級でより質の高い教育を受けることができるという趣旨もあるでしょう。
在校生の保護者の人たちに、特学を明德小学校に置く通知はしたのでしょうか。
(菊地部長) 保護者の方は、まだこれからです。
(吉本委員長) 実施はいつぐらいからですか。
(菊地部長) 教員の配置もあり、新年度からスタートしたいと思っておりますが、予算の関係で4月以降に教室の工事に入りますので、完成までに1ヶ月半くらいかかるのではないかと考えていまして、当面、空き教室で環境の整わない部分で行わなければならない期間が出てくるかと思っております。
(吉本委員長) 年度入ってから間もなく改修するということですか。
(教 育 長) 教員配置を年度途中で行うことを認めてくれないものですから、教員確保

の面からスタートしますというふうにしていかないと、今までは全部作っ
てから分離するという形をとっていたのですが、今はその余裕がないので
急いで行うという慌しい部分があるのですが、実際に児童や先生にとって
は近くなったり、負担が軽くなったりと恵まれた条件になるのではないかと
思っています。

(佐藤守委員) 特殊学級の人数だけみると西小学校が多いですね。

(菊地部長) はい。西小学校、北星小学校、沼ノ端小学校が通級学級の過密が問題にな
っています。それで、今、特殊教育振興委員会に苫小牧の特殊学級をこれ
からどうしていくのかという話を17・18年度で検討していただいでい
ますが、その中で指摘された部分で年次的に特殊学級の分離新設を手がけ
ていかなければならないのだろうと考えているところです。

— 原案通り可決 —

議案第3号 平成17年度教育費補正予算について

(菊地・鎌田両部長より 所管分補正予算案 提案説明)

(1) 教育費全体：85,724千円の増額補正

- ・ 財源内訳：国道支出金 5,581千円増、地方債 10,300千円減、その他特定財源 49,478千円の増、一般財源 40,965千円増

(2) 教育総務費：60,860千円の増額補正 (菊地 学校教育部長)

- ・ 教育指導費：明倫中学校の全国マーチングバンドバトントワリングフェスティバルの遠征費用の小中学校文化活動助成金として2,340千円の増
- ・ 諸 費：苫小牧東高校分集中暖房経費の増による4,195千円増、明野中学校の用地を分割で購入するための費用を土地開発基金から繰入したことなどによる教育施設整備基金積立金の54,325千円増

(3) 小学校費：7,614 千円の増額補正（菊地 学校教育部長）
・ 学校管理費：暖房経費の増、電気・上下水道料の執行残による学校管理運営費の 9,608 千円増、校舎等改修費の執行残による 1,454 千円減（財源更正あり）、拓勇小学校学級増に伴う管理備品等購入費の 1,894 千円増
・ 教育振興費：学用品購入や給食費扶助等の対象者増による教育扶助費の 6,665 千円増、学力向上拠点形成事業費が直接学校に入ることになり、市の予算を通らなくなったことによる 600 千円減
・ 学校建設費：若草小学校校舎改築事業費の入札差金による 5,502 千円減、第 23 小（ウトナイ小）新設実施設計費の入札差金による 2,997 千円減
(4) 中学校費：6,825 千円の増額補正（菊地 学校教育部長）
・ 学校管理費：暖房経費、電気・上下水道料の増による学校管理運営費の 11,174 千円増、光洋中学校の改修延期による校舎等改修費の 7,606 千円減
・ 教育振興費：学用品購入や給食費扶助等の対象者増による教育扶助費の 3,257 千円増
(5) 社会教育費：3,031 千円の増額補正（鎌田 スポーツ生涯学習部長）
・ 社会教育総務費：指定寄附による美術館建設基金積立金の 133 千円増及び市民文化芸術振興基金積立金の 86 千円増
・ 図書館費：暖房経費の増による 512 千円増
・ 青少年対策費：拓勇小学校留守家庭児童会移設工事による 2,300 千円増
(6) 保健体育費：7,394 千円の増額補正（菊地・鎌田 両部長）
・ 保健体育総務費（鎌田）：2つの団体から申請がなかったことによる全国全道スポーツ大会開催運営助成金の 500 千円減、小・中・高校生の各種体育大会遠征の増加による遠征費助成金の 6,976 千円増
・ 給食共同調理場費（菊地）：配膳員等賃金の 1,000 千円減、燃料費経費増による 4,955 千円増
・ スポーツセンター費（鎌田）：燃料費の増及び電気・上下水道料の執行残などによるハイランドスポーツセンター管理運営経費の 760 千円減、管理運営委託料の執行残によ

る日新温水プール管理運営経費の 3,791 千円減、入札差金及び執行残によるハイランド
スポーツセンター屋外リンク改修事業費の 389 千円減、旧プレスセンター撤去費 238
千円減、ローラースケート場整備事業費の 891 千円減
・ 体育館費（鎌田）：暖房経費の増及び電気・上下水道料の執行残などによる総合体育館
運営経費 1,560 千円増、暖房経費の増による日吉体育館運営経費 181 千円増、体育館
有料化に伴う券売機（3 台）購入費として 2,971 千円増
・ サイクリングターミナル費（鎌田）：利用者減に伴う管理運営委託料の減による管理運
営費 1,680 千円減
— 原案通り可決 —
議案第 4 号 平成 18 年度教育費予算について
（菊地・鎌田両部長より 所管分予算案 提案説明）
(1) 教育費全体：5,197,856 千円（菊地 学校教育部長 概要説明）
・ 前年度 4,139,451 千円、前年度比 1,058,405 千円増（25.6%増）
・ 前年度に比べ中学校教師用教科書等購入費などの増加による経常費で 6,899 千円増、ウ
トナイ小校舎新築事業費などの増加による臨時費 1,051,506 千円増、
(2) 教育総務費：387,873 千円（菊地 学校教育部長）
・ 教育委員会費：経常費で前年度比 57 千円減（委員会運営経費の減）
・ 事務局費：経常費で前年度比 699 千円減（一般事務費の減）
・ 教育指導費：経常費で前年度比 542 千円減（教育団体補助金の減）、臨時費で前年度比
3,689 千円増、外国青年招致事業費 13,732 千円（従来の A L T 2 名から 8 月以降 J E
T 1 名増に伴う）、「いじめ」根絶対策事業費 5,100 千円（スクールカウンセラー等人件
費）、不登校児童生徒中学校用対策事業費 1,390 千円、「心の教室」推進事業費 4,539
千円、小中学校文化活動助成金 1,000 千円、学校評議員事業費 1,500 千円（1 校あたり

3～4名)、平取養護学校週末帰省用送迎バス運行事業補助金 1,000 千円 (平取町出資に父母の会へ助成)、北海道国際理解教育研究大会補助金 200 千円 (9月実施予定)、特別支援教育推進校内研修費 368 千円 (教員の特別支援教育に対するスキルアップを目指すための研修費用) を計上
・ 諸 費：経常費で前年度比 4,488 千円減 (東高校の集中暖房廃止による減)、臨時費で前年度比 21,000 千円の減、教育施設整備基金積立金 332,200 千円を計上
(3) 小学校費：2,677,599 千円 (菊地 学校教育部長)
・ 学校管理費：経常費で前年度比 2,440 千円増 (暖房経費の増)、臨時費で前年度比 5,488 千円増、校舎等改修費に 135,980 千円 (明德小特学新設、清水小暖房改修費用、北星小学校アスベスト撤去費用、沼ノ端小ボイラー改修費用等)、特殊学級児童生徒送迎車両購入費 108 千円 (たんぼぼ号更新に伴う車両更新費用分割払い)、屋外遊具施設整備費 1,000 千円を計上
・ 教育振興費：経常費で前年度比 15,204 千円減 (教師用教科書等購入費の減)、臨時費で前年度比 1,129 千円増、特殊学級通学・通級児童付添者交通費補助金に 2,669 千円、特定地域バス通学児童交通費補助金に 350 千円 (うぐいす団地在住の錦岡小通学者などに半額補助)、学校図書館用図書整備費 3,000 千円、特色ある学校づくり推進事業費 2,640 千円 (1校あたり 120 千円、中学校費も同様)、総合的な学習活動助成金 3,300 千円 (1校あたり 150 千円、中学校費も同様)、幼・小連携教育調査研究事業費 350 千円、児童緊急安全対策費 800 千円を計上
・ 学校建設費：臨時費で前年度比 1,386,100 千円増、ウトナイ小校舎新築に伴う事業費 1,410,000 千円、屋内体育館新築事業費 330,000 千円、屋外環境整備事業費 77,000 千円、用地取得費 52,500 千円、初度調弁費 90,000 千円、美園小学校校舎耐震診断・改修計画費 4,500 千円を計上
(4) 中学校費：593,932 千円 (菊地 学校教育部長)
・ 学校管理費：経常費で前年度比 4,088 千円増 (暖房経費の増)、臨時費で前年度比 77,881 千円増、校舎等改修費に 97,881 千円 (開成中暖房改修、沼ノ端中ボイラー改修費用な

どの修繕)、生徒用机・椅子整備事業費 11,000 千円を計上
・ 教育振興費：経常費で前年度比 21,111 千円増（教師用教科書等購入費の増）、臨時費で前年度比 17,812 千円減、特殊学級通学・通級児童付添者交通費補助金に 1,860 千円、学校図書館用図書整備費 3,000 千円、中学校教育用コンピュータ整備費 3,044 千円（パソコン教室コンピュータのリース代）、特色ある学校づくり推進事業費 1,800 千円、総合的な学習活動助成金 2,250 千円、豊かな体験活動推進事業費 400 千円を計上
・ 学校建設費：臨時費で 91,449 千円増、光洋中学校改築実施設計業務費 22,000 千円、明野中学校用地購入費 69,449 千円を計上
(5) 幼稚園費：4,460 千円（菊地 学校教育部長）
・ 幼稚園費：経常費で前年度比 356 千円減（委託料など管理運営経費の減）
(6) 社会教育費：395,503 千円（鎌田 スポーツ生涯学習部長）
・ 社会教育総務費：経常費で前年度比 4 千円減、臨時費で前年度比 759 千円増、文化芸術振興事業費に 11,746 千円（コンサート等への助成、文化団体助成事業など）、障害者 I T 学習支援事業費に 400 千円、高等学校文化活動遠征費補助金に 500 千円などを計上
・ 公民館費：経常費で前年度比 101 千円増
・ 文化交流センター費：経常費で前年度比 425 千円減
・ 図書館費：経常費で前年度比 104 千円増（暖房費用など管理運営経費の増）、臨時費で前年度比 500 千円増、図書館コンピュータシステム更新費 11,025 千円（債務負担行為 5 ヶ年の 2 年目）、図書館蔵書整備費に 15,500 千円を計上
・ 科学センター費：経常費で前年度比 134 千円減（科学展示経費、委託料など管理運営経費の減）、臨時費で前年度比 240 千円の増（科学センター巡回科学展事業費の増による）、科学センター展示物整備事業費 5,000 千円を計上
・ 青少年対策費：経常費で前年度比 2,331 千円増（留守家庭児童会運営経費の増）、臨時費で前年度比 2,100 千円減、学校長期休業期間開設留守家庭児童会運営費 1,829 千円を計上

・ 児童館費：經常費で前年度比 65 千円増
・ 勤労青少年ホーム費：經常費で前年度比 147 千円減
・ 文化会館費：經常費で前年度比 3,924 千円増（指定管理者移行による増）、臨時費で前年度比 2,370 千円増、非常用蓄電池改修工事費 1,470 千円、ステージバレエマット更新費 900 千円を計上
・ 博物館費：經常費で前年度比 127 千円増、臨時費で前年度比 700 千円増、博物館特別展事業費に 1,500 千円、移動美術展事業費に 300 千円、収蔵品保存・整理事業費 500 千円を計上
(7) 保健体育費：1,138,489 千円（菊地・鎌田 両部長）
・ 保健体育総務費（鎌田）：經常費で前年度比 8,752 千円増（体育協会補助金の増）、臨時費で前年度比 62,650 千円減、（国体冬季スケート・アイスホッケー競技会などの終了による）、全国全道スポーツ大会開催運営助成金 1,150 千円、小・中・高校生各種体育大会遠征費助成金 7,500 千円、国際アイスホッケー中学生交流事業費 1,000 千円、小学校低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会事業費 300 千円、全国中学生スケート・アイスホッケー大会開催市補助金 1,000 千円、全国高等学校選抜アイスホッケー大会開催市補助金 2,000 千円、全日本高等学校馬術競技大会開催市補助金 300 千円を計上
・ 給食共同調理場費（菊地）：經常費で前年度比 6,052 千円増（燃料費など管理運営経費の増）、臨時費で前年度比 5,700 千円増（給食センター整備費の新設による）
・ 体育施設費（鎌田）：經常費で前年度比 8,811 千円増（野球場指定管理者移行による増）、臨時費で前年度比 9,863 円増、市営野球場整備費に 9,064 千円（整備料 10 ヶ年分割支払のうち、3年目の支払額が含まれている）、緑ヶ丘公園庭球場整備費 4,800 千円、緑ヶ丘公園サッカー場整備費 3,000 千円、緑ヶ丘公園陸上競技場整備費 10,863 千円、を計上
・ スポーツセンター費（鎌田）：經常費で前年度比 34,010 千円減（ハイランドスポーツセンター指定管理者以降による減）、臨時費で前年度比 445,800 千円減（ハイランドスポーツセンター屋外リンク改修事業費などの終了による）で計上なし

- ・ 体育館費（鎌田）：経常費で前年度比 4,426 千円増（日吉体育館管理運営経費の増）、臨時費で前年度比 15,000 千円増（総合体育館整備費の新設（雨漏りの補修など）による）
- ・ スポーツ宿泊施設費：経常費で前年度比 633 千円増（サイクリングターミナル指定管理者移行による増）

（吉本委員長）ありがとうございます。ただいま平成18年度の予算案に関しまして、両部長さんからご説明がありました。何かご質問等がございましたらお受けしたいと思います。

（佐藤守委員）身近な所で若草小学校の旧校舎が残っているのですが、いつぐらいの予定で壊していただけるのかということと、青少年対策費でしょうか、苦子連（苦小牧市子ども会育成連絡協議会）がありまして、市から助成をいただいているのですけれども、今年度5%減という申立てがきたということなのですが、子ども会自体、大事な時期ですのでなるべくならば、減額がないような形でできないのかということと、体育施設の関係で指定管理者移行に伴う増とあるのですが、指定管理者にすることによって、経費を節約するという意味合いで指定管理者になっていると思っていたので、増というのに疑問を感じるのですが、以上3点お願いします。

（菊地部長）若草小学校の関係ですが、解体費・駐車場整備等に1億円かかります。今年、予算要求したのですが、予算編成で折衝していく中で、他の事業を優先せざるを得ないということで見送っているわけですが、基本的に1年だけ待っていただくということで考えております。駐車場などは不便をかけないようにしたいと思います。

（佐藤守委員）屋根が飛びそうになっているので、危ない部分があるのですが。

（菊地部長）子ども達が出入りしないように、管理の問題も考えておりますので、一応来年以降行うということです。

（鎌田部長）補助金の苦子連の関係ですが、私の方では確認はしていないのですが、今

<p>回の市の補助金に対する考え方として、一律5%削減ということで例外なしに行われているのでそういうことになっているかと思います。</p>
<p>それから、指定管理者になって経費増というのはおかしいという指摘だったかと思いますが、今までの施設の管理費というのは、職員がいた場合の人件費というのが、市役所全体の職員費の中で執行されていたので、今回、管理費プラスその人件費の部分も合わせて指定管理者と協定案としてお願いするものですから、その時にどうしても管理費に上積みとなりますので、予算増という形になるのです。</p>
<p>(佐藤守委員) はい。わかりました。</p>
<p>(吉本委員長) 鈴木委員さん、何かありますか。</p>
<p>(鈴木委員) 総合体育館も雨漏りしているのですか。</p>
<p>(鎌田部長) そうです。原因はたぶんここだろうと500万円つけているのですが、昭和49年に建てたものですから、本来、完全にオーバーホールしなければならないと思うのですが、お金がありませんので、とりあえずという形です。</p>
<p>(鈴木委員) ハイランドスポーツスケートセンターの中に陸上競技場というのは、まだ後の話になるのでしょうか。</p>
<p>(鎌田部長) 全天候のお話ですね。新聞に出ていましたけれども、それは市長の希望として述べたわけで、実際問題としては公式な席でハイランドを全天候型にするというのはまだ表明したことはないです。たまたま誘致協議会等からの陳情があった時に市長がお話ししたことが載ってしまったということですから、ただ、詰めているのですが1周リンクの外側というふうに考えたのですが、今の状態ですと1周500メートル取れないのです。460~700メートルの世界なので、一番奥の山を削るなどした場合、さらに2億円ほどお金がかかってしまうためになかなか実現しないし、積雪対策も出てくるということで、検討はしているのですが、まだ公には出しておりません。</p>

(鈴木委員) わかりました。もし、そういうのが出来たととなりますと、今回国体の時に見られた方はわかると思うのですが、全天候型に厚い氷が固くなって、それを滑らないように削るわけですね。その時に全天候の施設を傷つけてしまうという問題点があるのではないかなと思って見ていたのですが、それでも、まだ先の話だと思いますのでよろしいです。

(吉本委員長) 佐藤郁子委員さんはどうですか。

(佐藤郁委員) 私は特に何もありません。

(吉本委員長) それではひとつだけ、給食センターで先ほどご説明のありましたPFIの話ですが、これは調査費、PFIで行ったらどうだろうかと研究・調査することなので、これは色々議会でも議論のあるところだと思いますし、過去のものもずっときているのだろうと思うのですが、東中学校近くに建てている法務局の建物がPFIのやり方で工事を続行していますが、これは身近にこういう事例があるということで、将来の給食センターのどういう形であれ、新たに作るということで影響はないものですか。研究はいいのですが、ひとつのたがをはめるようなことになるのではないかなと思うので、教えていただきたいのですが。

(菊地部長) 実は、平成22年の稼働開始を想定して、事業を進めていくのですが、従来方式であれば実施計画に盛り込まれているのですが、基本構想を策定しますということに18年度はなっていたのです。

それをPFIの可能性調査ということに振り替えて実施するという予算付けに今回はなっているわけですが、仮にPFIで行うことが不可能だという調査結果が出た場合に、その基本構想が行われていないではないかという問題が出てくるわけですが、直営で行うかPFIで行うかどちらが得かという費用対効果の測定を行う時に、こういった規模の施設を建てるか、運営方式はどういったことにするか、機器類はどうするかとか、色々な基本構想で固めるような中身を想定しなければ、PFIはできないと

<p>ということになります。ですから仮にPFIができないということになった時に、それではスケジュールが狂うのかということになりますと、基本的には基本構想で行うべきことはできるので、だめだということになれば軌道修正して直営の方向に戻るとということになるかと思えます。</p>
<p>(吉本委員長) そうですか。あまり縛りというものは別に生まれてこないと、あとは議会の議論もあるでしょうし、首長さんのその時の考え方もあるでしょうが、どういものか思いまして質問させていただきました。</p>
<p>(菊地部長) 一応、建設費については、一般的にPFIで行いますと20%程度安いというお話があることと、管理運営についても民間委託の一つの形態ですが、PFIを活用してということで考えていますので、PFIを前提として進めていくわけですが、だめだということになれば路線変更・修正していかなければならないということになるかと思えます。</p>
<p>(吉本委員長) ありがとうございます。</p>
<p>(教育長) 今の件につきましては、当然、教育委員さんのお考えを充分お聞きしながら進めていかなくてはならないと思いますが、現段階としてはこういうものという比較するものが出てきませんので、何も説明できないでいると、ましてやよく議会の中でも市民への説明はいつから始めるのか、まだ何もできない状態なものですから、こういうふうな形をとっています。</p> <p>先ほどの教育行政執行方針は、この予算裏付けで具体的になっているということでございますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
<p>(吉本委員長) よくわかりました。</p>
<p style="text-align: center;">— 原案通り可決 —</p>
<p style="text-align: center;">議案第5号 校長・教頭の人事内申について</p>
<p style="text-align: center;">(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)</p>

5 委員会閉会の宣言（吉本委員長） …16時39分

以上のおり会議の概要を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。